

令和6年度視覚障害サポート・ボランティア養成講座
入門講座カリキュラム

日時 2024年7月30日(火)～8月27日(火) 全4回

会場 静岡県総合社会福祉会館シズウエル5階集会室

7月30日(火)13時15分～16時30分

①視覚障害者の生活とセンターの役割

- まずはボランティアの皆さんへ
- 「センター」の紹介と役割について
- 「障害者」、手帳、見えない・見えにくい人
- 視覚障害のとらえ方と社会モデル
- 身体的障害が社会的障壁に拡大される！
- 地域生活と社会参加
- 多様化するライフスタイルとQOLの向上

8月6日(火)13時15分～16時30分

②コミュニケーションのすき間を埋める「対話」

- コミュニケーションで困ること
- ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)
- チャレンジ:情報交換とコミュニケーション促進のアイマスク体験

③移動のバリアと「ガイド」の役割

- 移動の悩み
- 言葉だけでわかりやすく伝えるために
- 声をかけるときのエチケット
- 誘導の基本姿勢
- 危険の回避
- チャレンジ:ザ・誘導
- チャレンジ:音声案内

8月20日(火)13時15分～16時30分

④情報障害と情報保障:①触察と点字

- 情報障害
- 点訳による情報保証、触察による情報アクセス
- 「点字」あれこれ
- レイ・ブライユと石川倉次〈19世紀点字物語〉
- 点字の市民権の広がり〈20世紀点字物語〉
- 点してみる
- チャレンジ:点字名刺づくり

8月27日(火)13時15分～16時30分

⑤情報障害と情報保障:②ユニバーサルデザイン

- 録音→音訳、そしてデジタル保存
- デジタル化の波:デイジーの歴史
- 音サイン、音声訳、音声ガイドによる情報保障
- 広がるICT機器
- 資料・図書情報提供のあり方はデイジー的な考え方に
- ユニバーサルデザイン思想の重要性

⑥最後に

- 統計資料から読み取れる視覚障害者の状況
- まとめ